

平成25年度教育研究業績書

氏名 光石 亜由美

最終学歴	名古屋大学大学院人間情報学研究科・博士後期課程満期退了	
取得学位	博士（学術）	
所属学会	日本近代文学会、日本文学協会、日本比較文学会、韓国日本語文学会	
専門分野	日本近代文学	
研究課題	自然主義文学をはじめとする、文学におけるセクシュアリティ言説の形成	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・言語文学 ・国文学講読 ・演習Ⅰ ・演習Ⅱ ・現代文化論Ⅰ ・近代文学概論Ⅰ ・近代小説論
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> ・近代文学論特殊講義
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・
【研究上の特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費補助金 基盤C生殖とセクシュアリティの近代一東アジアにおける「近代家族」とジェンダー 研究代表者：宮坂靖子 研究分担者（平成24～26年度） ・挑戦的萌芽研究（大正期の日本および東アジアのメディア言説における異常コードの概念研究）研究分担者（平成23～25年度） 	
【教育上の特記事項】		
【社会的活動】	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業 ・日本文学協会運営委員 	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生指導委員、図書委員、博物館委員、国際交流委員 ・限界挑戦サークル、文芸部顧問 	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) ① ② ③ ④ ⑤				
(学術論文) ①「園田てる子評伝」 ② ③ ④ ⑤	単著	2013年3月	奈良大紀要、42号	園田てる子（一九二六～一九七六年）は、埼玉県熊谷市生まれの小説家である。少女小説、推理小説、官能小説、性風俗の体験記、エッセー等さまざまな仕事を残したが、その生涯、業績はまったくといっていいほど知られていない。本稿では園田てる子の妹・石山美江子さんのインタビューと、娘・典子さん（フランス在住）とのメール、園田てる子の著作から、その生涯と作家活動を描き出し、一九五〇年代から一九七〇年代に、女性のセクシュアリティを前面に押し出し、独特の地位を保った園田てる子の足跡をたどる。
(学会発表) ①恋愛は国境をこえるか？—日韓共同制作ドラマと日韓合同小説「愛のあとにくるもの」をめぐる（国際パネル）〈韓流〉と〈日流〉の先にあるモノ—創造と変容をめぐるいくつかの事例— ② ③ ④ ⑤		12月1日	於：日本大学	
(その他) ①『東海の異才・奇人列伝』（項目執筆：福沢桃介） ②『戦争×文学 〈戦争と文学〉案内』（項目執筆：北杜夫「夜と霧の隅で」） ③ ④ ⑤	単著 単著	2013年4月 2013年9月	風媒社 集英社	